

頭の体操:愛犬クイズ+イヌと一緒に楽習運動:訓育遊技

なんちゃって ラリーオビディエンス@埼玉・川越

主管:ドッグスポーツ愛好会

日本では室内で暮らすイヌが増え、栄養や健康管理(ケア)も良くなり、イヌの寿命もヒトと同様に延びています。良いことばかりではなく、イヌにもヒトと同じように肥満や痴呆症などの問題も起きてきています。ソフト面から見ると、より簡便なドッグスポーツを取り入れてみることでイヌとの暮らしに、潤いもさらに増してきます。ドッグスポーツはイヌのためばかりでなく、ドッグオーナーも愛犬と一緒に上達する喜びを楽しむことができます。

このゲームから、ドッグオーナーが愛犬の運動の大切さの理解を深められるとともに、イアン・ダンバー博士が、ゲームを通してイヌがしつけられていくように考えた「K9ゲーム」と同様の効果を期待しています。イヌがヒトの社会で暮らすためのマナーを「なんちゃってラリーオビディエンス」にチャレンジする中から、学び取ることも可能ではないかと考えます。

・開催日:2017年7月30日(日曜日)10:00~15:00(随時)

・開催地:FETCH!(埼玉県川越市吉田107) TEL:049-233-2176

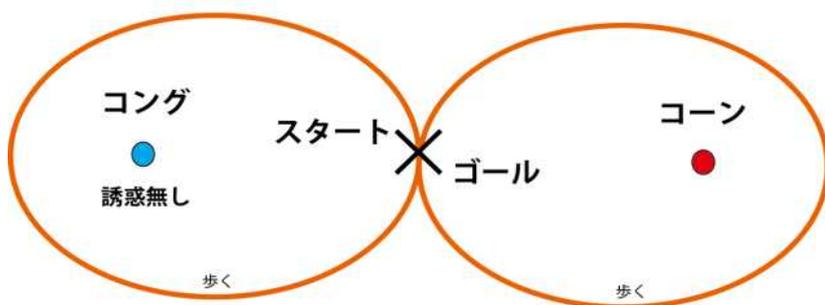
・なんちゃってラリーオビディエンス参加費:無料 ※規定のドッグラン入場料が掛かります。アジリティーボール体験会と同時開催。

※お問い合わせ先メール wanco@dogsports.jp

■訓育遊技/なんちゃって ラリーオビディエンスの概要

ラリーオビディエンスはアメリカ発祥のオビディエンス(訓練競技)で、ヨーロッパでも人気が高まってきているドッグスポーツです。プレートに書かれた動作を順番にクリアしながら、ゲーム感覚で愛犬と一緒に楽しむレクリエーション・スポーツとしての趣が強いようです。この「ラリーオビディエンス」

なんちゃって ラリーオビディエンス 訓育遊技 わんこと一緒に「8の字」お散歩



散歩などの時に、迷惑をかけずに歩くことができるか、確認できる項目です。犬に付けたリードをどちらかの手に持って、自分のタイミングでスタートします。コング(誘惑無し)とコーンの外側を8の字を描くように犬と一緒に歩きます。犬がリードを引っ張るような歩きかたは減点ですが、競技のような正確さは求められません。右回り、左回りはどちらからはじめても構いません

各ポイントには指示の書いたプレートや設問の書かれたカードを設置します。愛犬と一緒に家族みんなで、チェックポイントを廻る順番を決めてゴールを目指すこともできます。

をヒントに、オリエンテーリングの要素も加味して、アレンジしたゲームが「なんちゃって ラリーオビディエンス」です。

駅のイベントなどで行われているスタンプラリーのように、幾つかのチェックポイントを会場となるフィールド内に設定して行います。例えば、10ヶ所のチェックポイントを設け、5ヶ所は「○×クイズ」などのクイズポイント、5ヶ所は「マテ30秒」などのオビディエンスポイントにします。